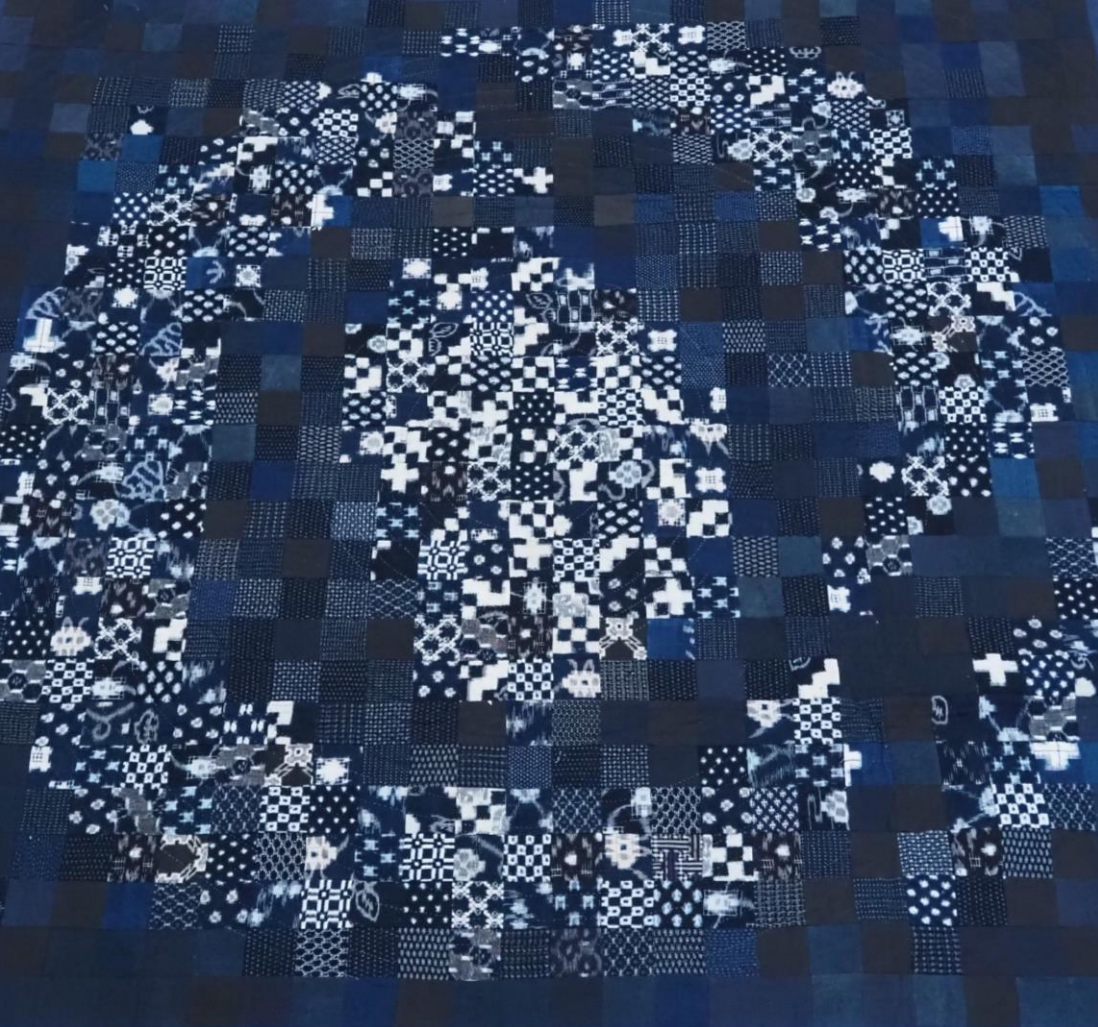


# 久下八重子展



作品名：上 久下八重子《ブラックホール》 下 久下八重子《3頭の馬》

丹波市出身の刺繍作家・久下八重子（くげ やえこ）はおよそ35年間、刺繍やパッチワークの技法で作品を制作してきました。制作に用いる布にもこだわりがあり「肌触りがよい」と関心をもった藍染の布や江戸時代に作られた布、そして当地ゆかりの「丹波布」など様々な布を作品に使用しています。

95歳となった現在、久下は約300点の作品を自宅に保管しています。特に自身の干支が「午（うま）」であることから久下の作品にはたびたび馬が登場します。本年が午年であることにちなんで、本展では久下が刺繍やパッチワークで表現した馬の作品を中心に約30点の作品を紹介します。

2026年

2月3日（火）

～

2月8日（日）



丹波市立植野記念美術館



ホームページ

〒669-3603 兵庫県丹波市氷上町西中615-4  
TEL 0795-82-5945 FAX 0795-82-5935

開館時間 午前10時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで  
会場 丹波市立植野記念美術館 2階研修室  
観覧料 無料（ただし「初代磯尾柏里展」展には別途観覧料が必要）  
主催 丹波市教育委員会、丹波市立植野記念美術館